

■■ 化学療法投与計画書《FOLFOXIRI療法》■■

実施日	
-----	--

患者番号	性別	身長	cm	
カナ氏名	生年月日	体重	kg	指示医
患者氏名	年齢	体表面積	m <sup>2</sup>	

Rp イリノテカン(トポテシン) 150mg/m<sup>2</sup> day1  
 オキサリプラチン 85 mg/m<sup>2</sup> day1  
 レボホリナート(アイソボリン) 200 mg/m<sup>2</sup> day1  
 フルオロウラシル(5-FU):持続 2400mg/m<sup>2</sup> day1~2 インフューザー使用 2.5mL/時間

イメンドカプセル125mg1カプセル,  
 ファモチジンD錠10mg2錠  
 イリノテカン投与1時間前内服

レジメンコメント1
レジメンコメント2

<b>本管①</b>	Day1	<b>側管①</b>
生理食塩液 100mL 1 瓶		パロノセトロン点滴バッグ 1 袋 0.75mg50mL デカドロン注射液1.65mg 6 管
		15分
		<b>側管②</b>
		大塚糖液5% 500mL(5%TZ) 1 袋 イリノテカン塩酸塩水和物 mg 〈腫〉トポテシン点滴静注100mg5mL 〈腫〉トポテシン点滴静注40mg2mL
		60分
		<b>側管③</b>
<b>本管②</b>		レボホリナート開始時120分かけて
大塚糖液5% 250mL(5%TZ) 1 袋 レボホリナートカルシウム mg 〈腫〉アイソボリン点滴静注用100mg 〈腫〉アイソボリン点滴静注用25mg		大塚糖液5% 250mL(5%TZ) 1 袋 オキサリプラチン mg 〈腫〉オキサリプラチン点滴静注液100mg 〈腫〉オキサリプラチン点滴静注液50mg
120分		120分
		<b>本管③</b>
全量105mL(適宜増減)に調製		
【mL】生理食塩液 100mL mL フルオロウラシル mg 〈腫〉5-FU注1000mg 〈腫〉5-FU注250mg		
46時		

ポンプの流速は2.5mL/時間に設定(必要時ポートフラッシュ)

●内服

イメンドカプセル

day1 125mg

(イリノテカン投与開始1時間前)

day2,3 80mg

デカドロン錠4mg

day2,3,4 2錠(8mg) 2×/day

《推奨》・・・便秘がある場合

※イリノテカン投与前日

センノシド錠12mg 2錠内服

(理由)胆汁が腸管内に停滞すると、胆汁排出されたイリノテカンが再吸収される恐れがあるため

<実施時の注意>

漏出時:直ちに投与を中止し、薬剤を吸引、洗浄し、ステロイドの局注、ステロイドの外用剤で対処する。オキサリプラチン投与時は寒冷刺激により末梢神経障害が誘発されるため患部の冷却は避ける。

●オキサリプラチン

アルミニウムとの接触により分解するため調製時あるいは投与時にアルミニウムが用いられている機器(注射針等)は使用しないこと。

●イリノテカン

光に不安定なので点滴時間が長時間に及ぶ場合には遮光して投与すること。

●フルオロウラシル

<注意すべき副作用>

●食欲不振、吐き気 ●口内炎 ●下痢 ●色素沈着 ●脱毛(頭髪、まつ毛、眉毛など) ●白血球減少  
●赤血球減少(貧血) ●血小板減少 ●過敏症 ●手足のしびれ ●肝機能低下